

昭和四一年五月二八日暴動

岩田秀一編

釜ヶ崎が「あいらん」地区に

ピストリ強奪事

暴動の発端は小さな火事だった。一消防車がくるのがおそい」とわめいた労務者たちは、火事とは関係のないパチンコ店を手はじめに、食堂や警察の分駐所をおそい、石を投げ、火をつけ、単車を焼き、警官のピストルを奪った。五年前の釜ヶ崎騒動の発端も、交通事故の現場にバトカーがくるのがおそいということだった。理由のない「暴動」が明け方近くまで続いた。警察の警戒体制がおくれたという不手際も騒ぎを大きくした。

(午後九時三五分) 西成区東入船町三六、
暮会所「ニコニコ荘」から出火、約五十平方
メートルを焼いた。

はじめ数百人の群衆が火事を見物して、
たが「消防車のくるのがおそい」と騒ぎ
はじめた。火が消えたあとも群衆は立ち
去らず人数もふえはじめた。

(同十時すぎ) 群衆はやがて霞町交差点か

ら移動しはじめ、約三百メートル東の地下鉄
動物園前駅前にあるパチンコ店「大一ホール」
と同店二階の食堂「大よし」をおそい、投石
をはじめた。

(同十時半) 群衆は約二千人にふくれ「こ
のパチンコ店はわれわれのかせぎをまきあげ
てけしからん」「こわせ、こわせ」と叫びな
がら投石したり、丸太ん棒をふりまわすなど

ガラスやシャッター、ホーンをつぎつぎにたたきこわした。同パチンコ店の従業員は二階から十分間ほどホースで水をかけたため群衆の騒ぎは大きくなり、すぐそばのジャンジャン横丁、南側の国鉄環状線の上からも投石しはじめた。

現場付近の府道尼崎一平野線いっばいに人が群がったため交通は完全にストップ。付近の商店もはやばやとシャッターをおろした。

（同十一時）
大一ホール前で火事の現場写真を撮影していた読売新聞写真部西島康乗記者（三四）が群衆約百人に囲まれゴミ箱などで袋だたきにされ、カメラ（ニコン）一台、腕時計、めがねを奪われた。付近の人に助けられたが全身打撲で四週間の傷。
大阪府警、西成署に警備本部を設置。

パチンコ店「大一ホール」付近で、騒ぎを制止する制服警官一人の背後から労務者らしい男がいきなり制帽を奪った。これを合図にしたかのように数人がわっと同警官を取り巻き、なぐるけるの暴行を加えた。約五分後、同僚に助け出された。

（西成署警ら係野村伊右衛門）
巡査（五五）が「大一ホール」パチンコ店前で群衆に取り囲まれ、袋だたきにあつたりえ実弾五発入りのピストル（コルト四五口径）を奪われ、全身打撲で一ヶ月の重傷を負った。

（同十一時五分）「警察公式発表の『暴動発生』時間」
（三〇日午前〇時十分）機動隊一団となつて「大一ホール」前の群衆につっこみ、追っばらつたあと、北側のジャンジャン横丁の方へ行き、天王寺動物園の方から環状線の線路上に上つて投石している群衆

を追い払いはじめた。

サンケイ新聞写真部塩田昌男記者、後頭部に石を投げられ二週間の裂傷。

（同〇時四五分）労務者たちは「大一ホール」表のシャッターをこじあげ古イス、棒切れ、板べいなどを入り口に山積みして火をつけた。炎は軒下をはっただけで機動隊が消しとめた。このあとさらに分駐所に火をつけ、約十平方メートルを全焼。

西成署警備派出所北側にある市電天王寺車庫前に待機していた機動隊員約二百人が現場にかけつけようとしたが、南霞町駅前交差点に待ちかまえていた約五百人の群衆がいっせいに投石、警官隊は動けなくなり立ち往生。通りがかつたタクシーや乗用車も窓ガラスを破られ、あわてて方向転換する始末。

（同一時五十分）大一ホール前の群衆は単車一台に放火、全焼させた。
（同二時） 同時刻現在機動隊六個中隊、

西成署員、市内各署からの応援警官など計千五百人が出動した。
府道尼崎一平野線の阿倍野橋一東四条交差点、堺筋の恵美須町一旧紀州街道交差点など約二キロにわたって交通し断じた。
東田町交差点付近に群衆五百人。警官を見ると投石。

（同二時十分）警官隊実力行使。
（同三時）天王寺公園南側に流れた群衆はタクシー一台に放火した。

（同三時半）
やっと投石騒ぎ静まる。
同時刻までに四人を公務執行妨害、傷害の現行犯で逮捕。

奪つたピストルで強盗？

二九日午前三時頃十分頃大阪市西成区天神森二の六、お好み焼店太田常次さん（八一）

方へ若い男が侵入、階下を物色して仏壇の引き出しから現金四万一千円を盗んでいた。男は二十四、五歳、約一、六メートル、赤いスポーツシャツを着ていた。

捜査一課ではこの強盗事件が、釜ヶ崎に近い場所、しかも騒ぎが静まらないうちに発生しており、賊の服装がピストルを奪った男に似ている点から野村巡査が奪われたピストルによる強盗事件とみて、捜査している。

(五月三十日朝刊)

初日の強盗を逮捕

ピストル強奪を追及

大阪府警捜査一課は釜ヶ崎暴動が起こった二十八日夜、西成署警ら係野村伊右衛門巡査(五四)が袋だたきにあい——略——ピストル強盗事件を捜査していたが、三十日夜和歌山県御市生まれ、住所不定、無職A(一八)同県海南市生まれ、住所不定、無職B(一八)を強盗の疑いで逮捕した。

自供によるとAらは二十八日夜、新世界の

夜店の帰り暴動の発端となった蕎麦会所の火事に出会った。見物しているうちに騒ぎがひろがり、群衆について歩くうち野村巡査をふくろだたきにしピストルを奪り現場を見た。

その後東入船町の簡易旅館に帰り「今夜は手薄だから強盗をやろう」と計画、駐車していた乗用車からドライバーを盗み、太田さん方へ押し入り、妻ミツノさん(七三)にドライバーをつきつけ四万一千円を奪ったといっている。

しかし同課ではドライバーは白色だが、ミツノさんは黒く光るものをつきつけられたと証言しており、ピストル強奪の現場の供述があいまいなところから野村巡査のピストルを奪い、強盗したとみて追及している。

(五月三十一日朝刊)

——パチンコ店で金をするものも多い。五百円ほど勝ったところでさっさとやめるものはまずない。千円、千五百円をねらう。そして負け、腹だち

まぎれに台をける。ここで芳っさんは、「あいつらがパチンコ屋をねらったのも無理ない」と強調した。台をけつたら、奥の事務所に連れこんでなぐりつけた店があるというのだ。腰が立たないほどやられた仲間をみたという。

「ある労働者の訴え」

(六月四日夕刊)

無策の西成署

まさか「制服の暴徒」

◎私は釜ヶ崎の騒ぎを、最初から目撃していたが、なぜ警察は非常線を張るなり、交通しや断をするなりして、混乱を避ける手段をとらなかつたのか疑問に思った。やじと悪口雑言のやりとりだけに夢中になつていた警官も、二人や三人ではなかつた。明らかに、それは地域の特殊性にもとづいて訓練された警官の姿でなかつた。

◎問題の「大一」パチンコ店はさすがに大阪商人、暴徒があばれ出さないうちに、気配を察してヨロイ戸を閉じたが、このあとかけつけた警官隊(三十人ぐらいとみたが)は、やじ馬を散らそうともしないで、そのまま「大一」の屋内に姿を消した。と同時に、屋内から放水、ビン、ガラス類の逆攻撃が開始されたが、騒動はこれを契機に本格化した。警察官はこのとき「大一」の屋内で何をしていたのかと、西成署長にききたい。

◎その後増員された警官隊は、交番が燃えさかっている最中も、遠く離れて見ていただけで、ついに最後まで手を出さなかつた。単車が焼かれたとき(私は単車運転者の生命の危機を感じた)も同様である。これが住民の生命・財産を守るべき警官の姿だろうか。このあと、やじ馬の追い散らしでは小路の入り口にいた女、小供の中にまで集団で突っ込み、警棒をふるい、住居内(二階に上る階段)まで

〈労務者渡世〉 販売所

- 釜生協 三南公園面、守定所通り、電車ヒラーメン、王子の店
- かとう ミヨンベンガー+乗入扱け之右側、新町と雑居の店
- (中) 銀座通り、「毎川屋」並ぶ、新町と雑居の店
- 干石書店 パキンコニロー下段裏、新南町南石町同側
- いこい食堂 西成署ウラ 公園北側のみし屋
- 大阪労働 中之島朝日ビル7階手前向
- 長瀬書店 東本町山合、パレス裏の方、古本と雑居の店

但し7ナンバーは、11号以下のみ、釜生協に届けて取り下さる。ご利用を、

次号は「あそび」特集。投稿歓迎!!
特集には「わらわ」小説、詩、俳句なんでも、ケ、コウ、ク、

労務者渡世十六号

六月一五行
労務者渡世編集委員会
大阪市西成区葎の茶屋ろ16115
釜生協 発行

んてい、た。いふは、彼らも合
りて、多くの無名の労働者の死に無
縁な、あるいは死んぶも差別される
労働者、特集を組まなければなら
ないとおもう。
15号からハガキを入手している。十
通ほど厚いがある。今号に全ての
せておけるはなにか、なるべく全部
入れておこうと思、ている。受取人の
ハガキは30円だが、手遣いかい
やがラセか40円とられる事もあ
り、多くの意見を待、てます。

土足で飛びこむ始末。まさにそれは「制
服の暴徒」であった。

◎結論をいおう。西成署は終始無為無策に
して、あの大事を招いたのである。釜ヶ
崎をいまままで、無警察状態に放置してき
たのは誰か。亮春、バクチ、徹夜マージ
ンなど現は堂々と行なわれていた。ま
ず西成署員を上から下まで全部入れ替
え、清新にして勇気のある警察としなけれ
ば釜ヶ崎の浄化は期待できない。

(西成区、東田六生、会社員、四三)
「世論の広場・気流特集」六月六日朝刊

(二九日朝)

府警刑事特別捜査本部は、事
件の発端となったパチンコ店
「大一ホール」に侵入した住
所不定、労働者永△美こと孔
△敏(二五)、同砂△宗△(二
二四)の二人を暴力行為で逮
捕したのをはじめ、同夜まで
にパチンコ店や警官隊に投石

編集後記

ニヶ月に一回発行を確立して、この号
は六月十日発行のつもりで、Eガ、何々
予定通りしかないもので、丁度特集の
の原稿があつまるのが遅く、いっせいで
みると予定よりはるかに多くなつていた。
いさびさの満塁ホームランとい、たとこ
ろです。

一年前に口が沖縛て死に、心が大樹で設
さい、そして又、通称とつりさうが生
い前で殺された。実にこの一年多くの反
人が、死ぬ感でEないのに死一校でし

した労働者ら計十七人を公務
執行妨害、傷害などで逮捕し
た。(五月二十九日夕刊)
— 続く —